

1989～1999年に当県で放流された人工種苗の尾数および平均全長を表1に示す。1995年までの放流尾数は217～436千尾であったが、1996年以降、事業化により放流尾数は1,006～1,200千尾と増加した。平均全長は77～110mmの範囲であった。

表1 福島県で放流されたヒラメ種苗の尾数および平均全長

	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年
尾数(千尾)	217	389	424	428	328	387	436	1,006	1,100	1,200	1,010
平均全長(mm)	110.0	81.0	77.0	85.0	85.0	87.2	91.0	100.0	96.9	96.6	100.2

資料: 放流技術開発事業総括報告書(平成2年度～平成6年度、平成7年度～平成11年度)

放流魚、天然魚別の推定漁獲量、推定漁獲金額および単価率

1994～1999年の月別漁獲量および放流魚、天然魚別の平均単価を図3(数値は付表1に示す。なお、漁獲量および放流魚重量比率は1989～1999年で整理し付表2に、漁獲金額および放流魚金額比率は1994～1999年で整理し付表3に示す。)に示す。月別にみると、推定された放流魚、天然魚別平均単価も漁獲量と同様、季節的な変動が確認できる。

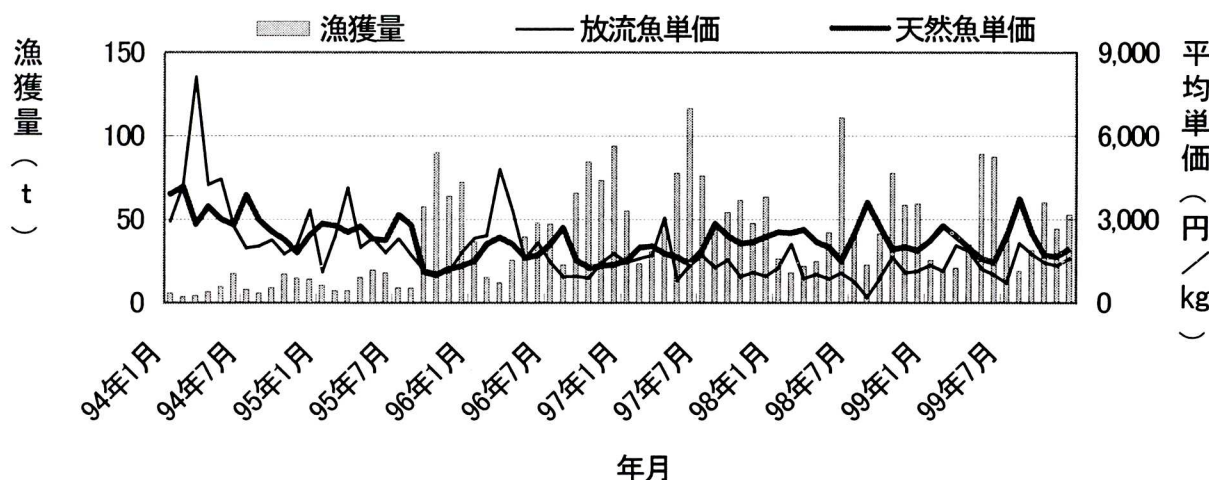


図3 福島県における月別のヒラメ漁獲量および放流魚、天然魚別平均単価

1994～1999

表2 ヒラメ天然魚、放流魚別推定漁獲量、漁獲金額および単価率

年	推定漁獲量(t)		推定漁獲金額(百万円)		平均単価 (円/kg)	単価率(%)	
	放流魚	天然魚	放流魚	天然魚		放流魚	天然魚
1994	27	91	76	254	2,790	101.1	99.7
1995	42	339	69	503	1,503	109.8	98.8
1996	31	535	51	859	1,608	101.5	99.9
1997	37	661	46	1,274	1,894	64.8	101.8
1998	56	492	61	1,030	1,991	55.1	105.1
1999	71	458	102	882	1,751	81.6	110.1

表2に示す。

放流魚の推定漁獲量は1997年までは27～42tで推移していたが、1998年に56t、1999年に71tと増加している。放流魚の推定漁獲金額は1998年までは46～76百万円で推移していたが、1999年には102百万円と増加している。

単価率は放流魚の単価率が天然魚とほぼ同じか若干上回っていたグループ(1994～1996年)と放流魚の単価率が著しく低下したグループ(1997～1999年)の2つに分けられる。前者では放流魚が101.1～113.7%、天然魚が98.8～99.7%の範囲で推移しているのに対し、後者では放流魚が55.1～81.6%、天然魚が101.8～110.1%の範囲を推移している。

1994～1999年の放流魚、天然魚別漁獲量および放流魚が重量に占める割合(放流魚重量比率)